

別紙：新旧対照表

変更事項	変更前	変更後
<p>4. 地域再生計画の目標</p>	<p>八幡浜港は、四国西端に突出する佐田岬半島の基部にあつて、南予地方における中核商業都市八幡浜市に位置し、西は豊予海峡を隔てて大分県に対し、九州と連絡する四国西部の海上交通の要衝的性格の港湾である。また、四国有数の好漁場と魚市場を有し、トロール漁業の基地であるとともに品質日本一のみかん産地をひかえるなど、農水産物の集散港として重要な役割をはたしている。八幡浜市はその昔、「伊予の大阪」と称せられ、港を中心に商業を含めた地域産業の中心にもなっていたが、基幹産業である第一次産業の低迷、若年層の流出による人口減少と高齢化の進行に伴い、市の活力が失われ、県下の市で唯一過疎指定を受けている。</p> <p>一方大島漁港は八幡浜市の西12キロメートルに位置する離島にあり、唯一の交通手段は、八幡浜港からの連絡船である。周囲に黒潮分岐流により形成される自然豊かな宇和海漁場があるため、古くから漁業を主に生計を立てており、島内の各世帯が漁船をほとんど所有している状態であるが、本地区は市の中において最も高齢化が進んでおり、漁業者の高齢化、後継者不足が問題になっている。</p> <p>このように、八幡浜港及び大島漁港ともに港、漁業を中心に発展した経緯があるが、前述のとおり徐々に活力が失われているため、本計画により活性化を図るものである。</p>	<p>八幡浜港は、四国西端に突出する佐田岬半島の基部にあつて、南予地方における中核商業都市八幡浜市に位置し、西は豊予海峡を隔てて大分県に対し、九州と連絡する四国西部の海上交通の要衝的性格の港湾である。また、四国有数の好漁場と魚市場を有し、トロール漁業の基地であるとともに品質日本一のみかん産地をひかえるなど、農水産物の集散港として重要な役割をはたしている。八幡浜市はその昔、「伊予の大阪」と称せられ、港を中心に商業を含めた地域産業の中心にもなっていたが、基幹産業である第一次産業の低迷、若年層の流出による人口減少と高齢化の進行に伴い、市の活力が失われ、県下の市で唯一過疎指定を受けている。</p> <p>一方大島漁港は八幡浜市の西12キロメートルに位置する離島にあり、唯一の交通手段は、八幡浜港からの連絡船である。周囲に黒潮分岐流により形成される自然豊かな宇和海漁場があるため、古くから漁業を主に生計を立てており、島内の各世帯が漁船をほとんど所有している状態であるが、本地区は市の中において最も高齢化が進んでおり、漁業者の高齢化、後継者不足が問題になっている。</p> <p>このように、八幡浜港及び大島漁港ともに港、漁業を中心に発展した経緯があるが、前述のとおり徐々に活力が失われているため、本計画により活性化を図るものである。</p>

<p>市では、“みなと”を中心に発展してきた八幡浜市の生い立ちをふまえ、「西予地域の生活・産業文化の中心としての魅力ある、誇れる“みなとまち八幡浜”の再生」を基本理念として、“みなと”を中心とした 21 世紀の都市づくりを進めている。</p> <p>市では、産業振興を主な分野として「特定地域振興重要港湾」(平成 12 年度)に指定された八幡浜港について、港湾を活用した地域振興・活性化の方向性や方策及び必要な港湾施設等の整備内容を明確化するため、国土交通省及び愛媛県の支援により「港湾振興ビジョン策定調査」を実施した。</p> <p>八幡浜港振興ビジョンの核となる施設は、フェリーターミナル関連施設であり、特にその中でも、フェリー利用客や周遊観光客を引きつける魅力ある食と物販の施設として観光魚市場を想定している。現在振興ビジョンの実証実験として、また地場産業の活性化をめざし、月に 1 回”やわたはま海鮮朝市”を開催しており、毎回約 5, 000 人が訪れ大変盛況である。</p> <p>こうした状況を踏まえ、八幡浜市では、現在の”やわたはま海鮮朝市”を発展・拡充した観光魚市場の本格的な整備に取り組んでいるところだが、まず、観光魚市場整備に当たって必要となるのはその建設用地である。そこで、振興ビジョンに資するものとして、本計画においては、浮棧橋、臨港道路及び緑地を整備し、その施設背後に都市再開発用地を造成、観光魚市場等の賑わいあふれる港湾交流</p>	<p>市では、“みなと”を中心に発展してきた八幡浜市の生い立ちをふまえ、「西予地域の生活・産業文化の中心としての魅力ある、誇れる“みなとまち八幡浜”の再生」を基本理念として、“みなと”を中心とした 21 世紀の都市づくりを進めている。</p> <p>市では、産業振興を主な分野として「特定地域振興重要港湾」(平成 12 年度)に指定された八幡浜港について、港湾を活用した地域振興・活性化の方向性や方策及び必要な港湾施設等の整備内容を明確化するため、国土交通省及び愛媛県の支援により「港湾振興ビジョン策定調査」を実施した。</p> <p>八幡浜港振興ビジョンの核となる施設は、フェリーターミナル関連施設であり、特にその中でも、フェリー利用客や周遊観光客を引きつける魅力ある食と物販の施設として観光魚市場を想定している。現在振興ビジョンの実証実験として、また地場産業の活性化をめざし、月に 1 回”やわたはま海鮮朝市”を開催しており、毎回約 5, 000 人が訪れ大変盛況である。</p> <p>こうした状況を踏まえ、八幡浜市では、現在の”やわたはま海鮮朝市”を発展・拡充した観光魚市場の本格的な整備に取り組んでいるところだが、まず、観光魚市場整備に当たって必要となるのはその建設用地である。そこで、振興ビジョンに資するものとして、本計画においては、浮棧橋、臨港道路及び緑地を整備し、その施設背後に都市再開発用地を造成、観光魚市場等の賑わいあふれる港湾交流</p>
--	--

<p>空間を創出し、魅力あるまちづくりを行うものである。また、八幡浜港には、その他観光資源として、平成11年7月オープンのおさかな牧場「シーロード八幡浜」がある。いけす釣りや食事等家族で過ごせる施設があり、年間約20,000人が訪れており、本計画の浮棧橋を利用して湾内クルーズを兼ねて利用客数の増加を図りたい。</p> <p>他方、大島漁港については、愛媛県南予特有のリアス式海岸になっており、極めて平坦部が少なく、狭隘な土地に集落が密集しており、まとまった漁港施設用地がなく、漁船の係留施設が不足している。そこで、本計画においては、物揚場や漁港施設用地(野積場)等高齢者にやさしい漁港の整備を行い、作業の軽量化、安全性の向上を図り、就業年齢の延長により、高齢者が長く、安心して暮らせる町づくりを行い、地域の活性化をめざすものである。また、こうした取り組みと合わせて大島の水産特産品である“うに”と“養殖かき”並びに豊かな自然と優れた景観、さらに国の天然記念物に指定</p>	<p>空間を創出し、魅力あるまちづくりを行うものである。また、八幡浜港には、その他観光資源として、平成11年7月オープンのおさかな牧場「シーロード八幡浜」がある。いけす釣りや食事等家族で過ごせる施設があり、年間約20,000人が訪れており、本計画の浮棧橋を利用して湾内クルーズを兼ねて利用客数の増加を図りたい。</p> <p><u>また、八幡浜港から九州へ現在1日別府6便、臼杵14便計20便フェリーが利用運行している棧橋施設は、本計画において大変重要な施設と考えられるが、昭和47年度に整備した施設であるため、老朽化、陳腐化がすすんでいる。そこで、本計画において棧橋関連施設の取替、補修工事等を実施し、フェリー接岸及び乗降の安全性、機能性の向上を図り、フェリー搬送車両台数の増加をめざしたい。</u></p> <p>他方、大島漁港については、愛媛県南予特有のリアス式海岸になっており、極めて平坦部が少なく、狭隘な土地に集落が密集しており、まとまった漁港施設用地がなく、漁船の係留施設が不足している。そこで、本計画においては、物揚場や漁港施設用地(野積場)等高齢者にやさしい漁港の整備を行い、作業の軽量化、安全性の向上を図り、就業年齢の延長により、高齢者が長く、安心して暮らせる町づくりを行い、地域の活性化をめざすものである。また、こうした取り組みと合わせて大島の水産特産品である“うに”と“養殖かき”並びに豊かな自然と優れた景観、さらに国の天然記念物に指定</p>
---	---

	<p>された地震の化石「シュードタキライト」を観光資源として、観光魚市場の整備等で観光客の増加が見込まれる八幡浜港からの観光客の入れ込みを促進し、大島の地域活性化につながるものと期待される。本計画によって、平成元年 43, 114 人、平成 16 年 22, 294 人と大きく減少傾向にある大島離島航路の乗降客数を下げ止まりさせ、八幡浜港の船舶乗降客数の増加を図りたい。</p> <p>目標 1) 八幡浜港の船舶乗降客数 (現在 494, 627 人・・・ 500, 000 人)</p> <p>目標 2) 大島漁港における漁港施設整備による漁業作業時間の短縮 (現在 9, 333 時間・・・ 6, 222 時間)</p>	<p>された地震の化石「シュードタキライト」を観光資源として、観光魚市場の整備等で観光客の増加が見込まれる八幡浜港からの観光客の入れ込みを促進し、大島の地域活性化につながるものと期待される。本計画によって、平成元年 43, 114 人、平成 16 年 22, 294 人と大きく減少傾向にある大島離島航路の乗降客数を下げ止まりさせ、八幡浜港の船舶乗降客数の増加を図りたい。</p> <p>目標 1) 八幡浜港の船舶乗降客数 (現在 494, 627 人・・・ 500, 000 人)</p> <p>目標 2) 大島漁港における漁港施設整備による漁業作業時間の短縮 (現在 9, 333 時間・・・ 6, 222 時間)</p> <p>目標 3) 八幡浜港のフェリー搬送 <u>車両台数</u> (現在 333, 102 台・・・ 340, 000 台)</p>
<p>5. 目標を達成するため行う事業</p>	<p>5-1 全体の概要</p> <p>九州と連絡する四国西部の海上交通の要になっている八幡浜港において、緑地等の賑わいあふれる港湾交流空間を創出し、魅力あるまちづくりを行うものである。</p> <p>八幡浜港振興ビジョンの核となる施設は、観光魚市場であり、その施設整備に当たって必要となる用地を確保する必要がある。そこで、離島航路及び生活物資運搬貨物船の発着施設として浮桟橋と出島地区港湾への車両及びフェリー乗降客車両が共に利用し、繁忙期には通行上大変危険な</p>	<p>5-1 全体の概要</p> <p>九州と連絡する四国西部の海上交通の要になっている八幡浜港において、緑地等の賑わいあふれる港湾交流空間を創出し、魅力あるまちづくりを行うものである。</p> <p>八幡浜港振興ビジョンの核となる施設は、観光魚市場であり、その施設整備に当たって必要となる用地を確保する必要がある。そこで、離島航路及び生活物資運搬貨物船の発着施設として浮桟橋と出島地区港湾への車両及びフェリー乗降客車両が共に利用し、繁忙期には通行上大変危険な</p>

<p>状況である臨港道路の付替え整備を行う。また、フェリー乗降客、港湾・市場関連就業者、港湾交流施設等の来訪者の場として、また観光朝市、フリーマーケット等集客のための各種イベントが開催できるスペースとしての緑地を整備し、賑わいあふれる港湾交流空間を創出し、魅力あるまちづくりを行うものである。</p> <p>さらに過疎化、高齢化の進行が著しい大島漁港において、漁業施設機能の向上、安全で効率的な漁業活動をめざし、物揚場及び漁港施設用地を整備するとともに、豊かな自然環境、特に天然記念物である地震の化石「シュードタキライト」を観光資源として、緑地等の整備により増加する八幡浜港の来訪者を大島に導き、観光からの地域活性化、島民の所得の向上と生活の安定を図りたい。</p> <p>5-2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業 港整備交付金を活用する事業 [施設の種類と事業主体] ・港湾施設 八幡浜港(八幡浜市) ・漁港施設</p>	<p>状況である臨港道路の付替え整備を行う。また、フェリー乗降客、港湾・市場関連就業者、港湾交流施設等の来訪者の場として、また観光朝市、フリーマーケット等集客のための各種イベントが開催できるスペースとしての緑地を整備し、賑わいあふれる港湾交流空間を創出し、魅力あるまちづくりを行うものである。</p> <p><u>また、フェリーが利用運行している</u><u>棧橋関連施設が、老朽化、陳腐化しているため、施設の取替及び補修工事等を実施し、フェリー接岸及び乗降の安全性、機能性の向上を図り、フェリー搬送車両台数の増加をめざしたい。併せてフェリー接岸泊地に堆積した長年の河川土砂を浚渫し、フェリーの安全運行を図りたい。</u></p> <p>さらに過疎化、高齢化の進行が著しい大島漁港において、漁業施設機能の向上、安全で効率的な漁業活動をめざし、物揚場及び漁港施設用地を整備するとともに、豊かな自然環境、特に天然記念物である地震の化石「シュードタキライト」を観光資源として、緑地等の整備により増加する八幡浜港の来訪者を大島に導き、観光からの地域活性化、島民の所得の向上と生活の安定を図りたい。</p> <p>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業 港整備交付金を活用する事業 [施設の種類と事業主体] ・港湾施設 八幡浜港(八幡浜市) ・漁港施設</p>
--	---

	<p style="text-align: center;">大島(真穴)漁港(八幡浜市)</p> <p>[整備量]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾施設     緑地、浮棧橋、道路</li> <li>・ 漁港施設     護岸、物揚場、用地</li> </ul> <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾施設     平成 17 年度～平成 21 年度</li> <li>・ 漁港施設     平成 19 年度</li> </ul> <p>[事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総事業費                     <u>1,453,500 千円</u></li> </ul> <p>    港湾施設                     <u>1,437,000 千円</u>     (うち、交付金 <u>528,000 千円</u>)</p> <p>    漁港施設                     <u>16,500 千円</u>     (うち、交付金 <u>11,445 千円</u>)</p>	<p style="text-align: center;">大島(真穴)漁港(八幡浜市)</p> <p>[整備量]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾施設     緑地、浮棧橋、道路     <u>棧橋、泊地</u></li> <li>・ 漁港施設     護岸、物揚場、用地</li> </ul> <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾施設     平成 17 年度～平成 21 年度</li> <li>・ 漁港施設     平成 19 年度</li> </ul> <p>[事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総事業費                     <u>1,578,800 千円</u></li> </ul> <p>    港湾施設                     <u>1,565,000 千円</u>     (うち、交付金 <u>589,600 千円</u>)</p> <p>    漁港施設                     <u>13,800 千円</u>     (うち、交付金 <u>9,285 千円</u>)</p>
--	---	---